

## 社会資本総合整備計画評価審議資料【河川課】

### ○計画の名称

#### ⑦ 「清流の国ぎふづくり」に資する良好な河川環境の創出」

- ・説明資料（パワーポイント）・・・p1～5
- ・社会資本総合整備計画事後評価書・・・p7～10



# 事後評価 社会資本総合整備計画

「清流の国ぎふづくり」に資する良好な河川環境の創出

県土整備部 河川課

1

## 背景～清流の国ぎふづくり～

### 「清流の国ぎふづくり」施策

- ・「**森・川から生まれる環境価値を活かす**」ため、水辺の持つ良好な親水空間を創出し、まちづくりと一体となった川づくりを行います。

### 「清流の国ぎふづくり」の骨格(3つの柱と10の施策)

#### 1. 清流を守る

- 生物が棲めるきれいな水を守る
- 自然と共生した川をつくる
- 「水みち」の連続性を確保する
- 土壌が流出しにくい山をつくる

#### 2. 清流を活かす

- 森・川から生まれる環境価値を活かす**
- 森・川が育む豊かな自然環境を活かす
- 森・川から生まれる県産品を活かす

#### 3. 清流を伝える

- 清流を学び、次世代へ伝える
- 県民協働による流域活動に参加する
- 岐阜の清流を内外にPRする



自然と共生した川づくりの事例(梅谷川)



小中学校の「総合学習」の支援状況



流域一斉清掃の様子(長良川)

# 評価の対象となる社会資本総合整備計画の概要

## 1. 計画概要（計画名・計画期間・目標）

### <計画名>

「清流の国ぎふづくり」に資する良好な河川環境の創出

### <計画期間>

平成29年度から令和2年度

### <計画の目標>

平成23年7月に発表した「清流の国ぎふづくり宣言」のもと、「清流を守る」「清流を活かす」「清流を伝える」の3つの柱と10の施策を掲げた「清流の国ぎふづくりを進めるため、**まちづくりと一体となった河川環境整備を行うことにより、良好な河川空間の創出を図る。**

## 2. 事業箇所

揖斐川圏域総合流域防災事業のうち、かわまちづくりを実施する箇所

### 基幹事業

- ・ 揖斐川圏域総合流域防災事業(揖斐川町・大垣市他)

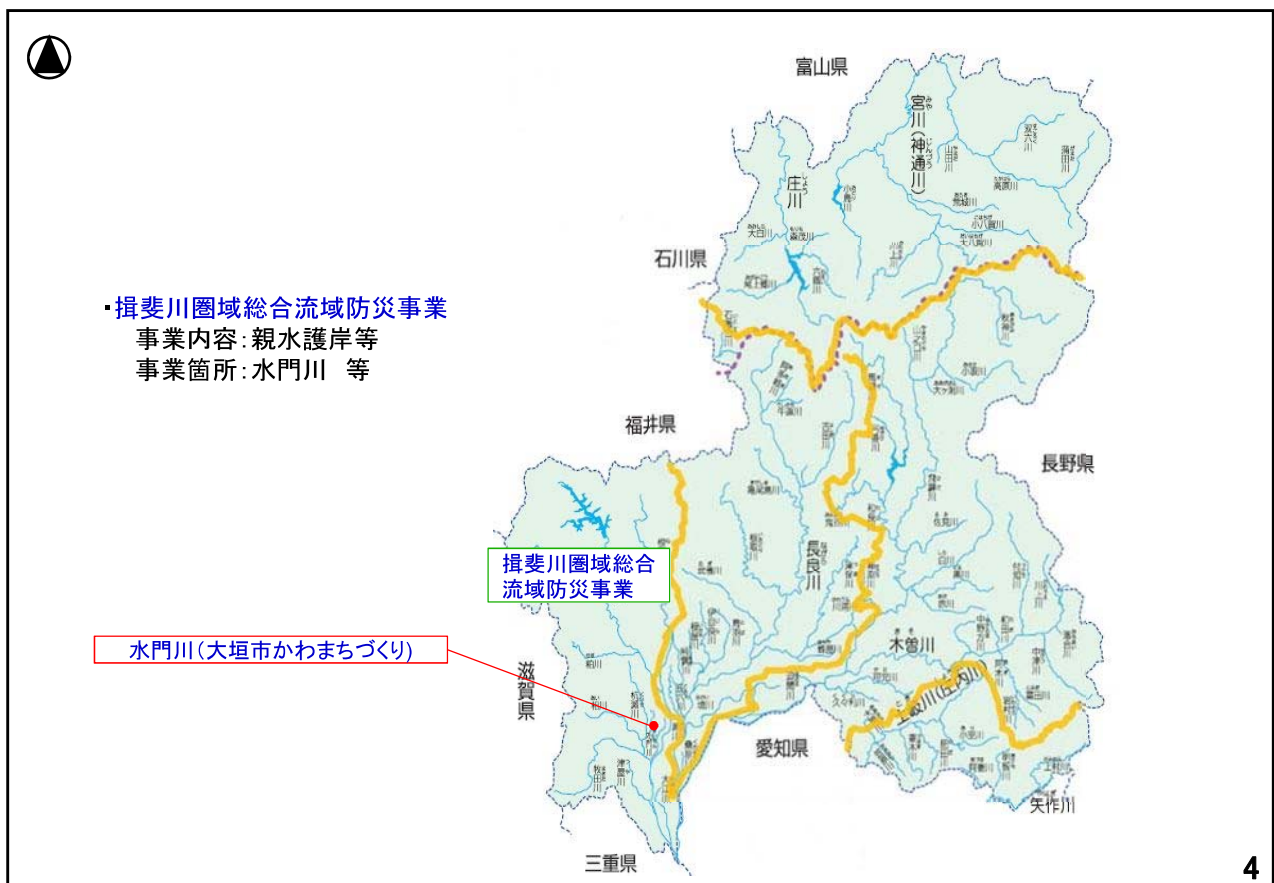
## 3. 目標を定量化する主な指標

- ・ 水門川かわまちづくり地区を往来する人数を、609人(H29当初)から634人(R2末)へ拡大する。

609 人 (H29年度) → 634 人 (R2年度)

3

## 計画の概要(基幹事業箇所図)



4

# 事業実施内容

かわまちづくり支援制度とは・・・

「かわまちづくり支援制度」は、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す「かわまちづくり」の取り組みを、河川管理者が支援する制度。



計画作成

河川管理者と市町、地域住民が連携し、「かわまちづくり計画」を作成



事業実施

「かわまちづくり計画」にもとづき、ハード施策等を実施、支援



制度へ登録

かわまちづくり支援制度に、作成した計画を登録



水辺の利活用

水辺の利活用

## ■かわまちづくり計画の登録要件

- ①地域の創意としての「知恵」を活かした計画を対象
- ②利活用方策が地域において明確となっているものを対象
- ③施設の維持管理に地域の協力が得られるものを対象

## ■支援内容

### ハード施策：

まちづくりと一体となった治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備

### ソフト施策：

推進主体と連携し、「かわまちづくり」の実現に向けて必要となる調査・検討を実施 等

# 事業実施内容

- ・H28年3月28日付でかわまちづくり支援制度に登録。
- ・大垣市役所の新庁舎建設に合わせ、まちづくりと一体となった河川環境整備により、良好な水辺空間を創出する。

- 基幹事業名 : 揖斐川圏域総合流域防災事業
- 事業箇所 : 大垣市
- かわまちづくり計画名 : 水門川(大垣市かわまちづくり)
- 全体延長 : L=0.15km
- 全体事業費 : 100百万円
- 整備内容 : 親水護岸工
- 事業期間 : H28～R2  
(H30～R1は庁舎建設のため休工)

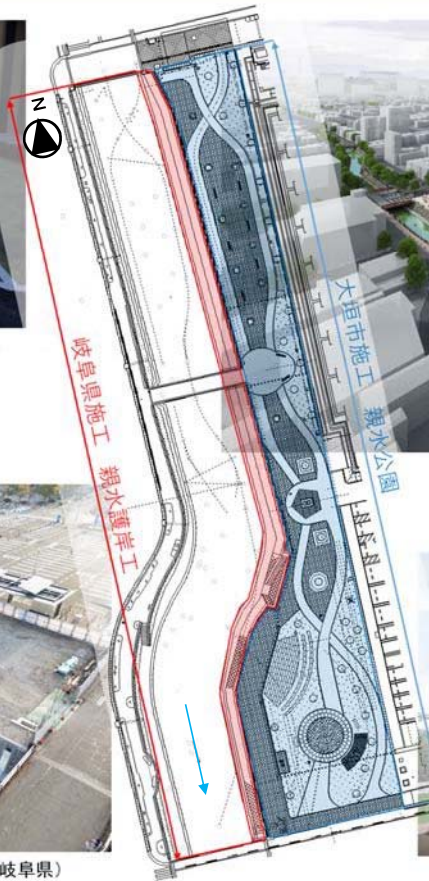
かわまちづくり事業  
L=150m



# 事業実施内容



河川沿いを散策出来る遊歩道を整備(大垣市)



新庁舎と一体となった河川空間の創出



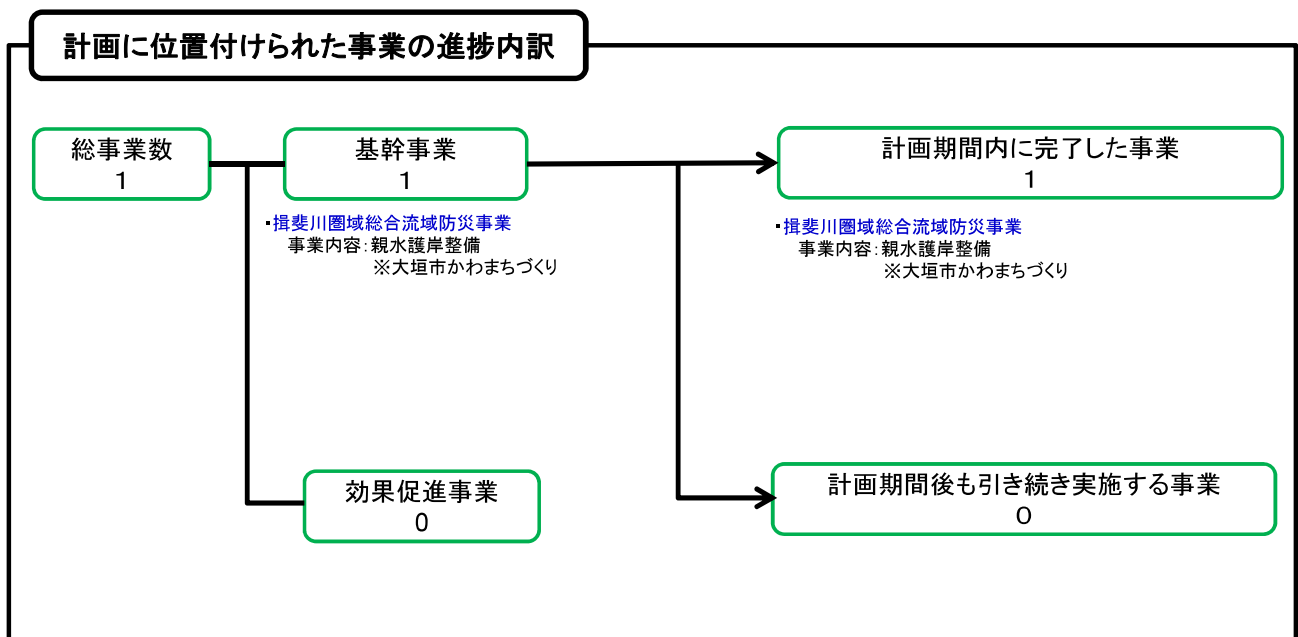
水辺に近づくことが可能な親水護岸を整備(岐阜県)



憩いの場として親水広場を整備(大垣市:R3整備予定) 7

# 事業の進捗状況

- 本社会資本総合整備計画の基幹事業である、揖斐川圏域総合流域防災事業の親水護岸等(大垣市かわまちづくり)について、計画期間内に完了。



# 目標値の達成状況

水門川かわまちづくり地区を往来する人数を、609人(H29当初)から634人(R2末)へ拡大する。  
⇒ 目標値は未達成(634人に対し562人(R3.7計測))

指標②	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値		結果		適用
					基準年度		目標年度		年度	
・水門川かわまちづくり地区を往来する人数を、609人(H29当初)から634人(R2末)へ拡大する。	人	休日(10:00~17:30)における、大垣市役所東側の歩行者・自転車通行量	かわまちづくりにより、良好な河川空間を創出することで、地区周辺に訪れる人を増やす。	609	H29	634	R2	562	R2	未達成

※R2年度はR3.7月に調査を実施。「夏に向けたリバウンド措置対策」の決定を踏まえた感染防止対策の徹底」が呼びかけられていたこともあり、外出の自粛傾向が続いていた状況。



写真提供:大垣市



まちなかテラス

9

## 今後の方針

### ◆今後の方針

”清流の国ぎふづくり宣言”のもと、「清流を守る」「清流を活かす」「清流を伝える」の3つの柱と10の施策を掲げた「清流の国ぎふづくり」を進める。

- 「清流の国ぎふづくり」に資する良好な河川環境の創出」による社会資本総合整備計画の整備は完了。
- 平成30年度より、新たな社会資本総合整備計画において、まちづくりと一体となった河川環境整備を行っており、今後も良好な河川空間の創出を図っていく。





社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	「清流の国ぎぶづくり」に資する良好な河川環境の創出												
計画の期間	平成29年度～平成32年度（4年間）												
交付対象	岐阜県												
計画の目標	平成23年7月に発表した”清流の国ぎぶづくり宣言”のもと、「清流を守る」「清流を活かす」「清流を伝える」の3つの柱と10の施策を掲げた「清流の国ぎぶづくり」を進めるため、まちづくりと一体となった河川環境整備を行うことにより、良好な河川空間の創出を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	64	A	64	B	64	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%
												0	0

番号	計画の成果目標（定量的指標）												
	定量的指標の定義及び算定式												
	当初現況値	中間目標値	最終目標値										
	H29当初	H30末	H32末										
1	609人	人	634人										
	・水門川かわまちづくり地区を往来する人数を、609人（H29当初）から634人（H32末）へ拡大する。												
	・休日（10:00～17:30）における、大垣市役所東側の歩行者・自転車通行量												

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中核都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業 基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02			
その他総合的な治水 事業	A08-001	総合治水	一般	岐阜県	直接	岐阜県	環境	-	揖斐川圏域総合流域防災 事業（水門川）	親水護岸 L=96m	大垣市	■	■	■	■	64	1.6	策定済
											小計					64		
												合計				64		

一体的に実施することにより期待される効果  
備考

案件番号：

1

事後評価	
<p>○事後評価の実施体制、実施時期</p> <p>事後評価の実施体制</p> <p>岐阜県事業評価監視委員会において意見聴取</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>令和4年2月7日</p> <p>公表の方法</p> <p>岐阜県ホームページに掲載</p>
<p>○事業効果の発現状況</p> <p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>まちづくりと一体となった河川環境整備の実施により、地区周辺を往来する人々の賑わいを生み、良好な河川空間を創出することが出来た。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	
<p>○特記事項（今後の方針等）</p> <p>R1年度末からの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛の傾向により、最終年度の目標指標は未達成となった。本計画にて水門川かわまわちづくり地区は整備完了となるが、新たな社会資本総合整備計画のもと別地区において整備を進めており、今後も、まちづくりと一体となった河川環境整備による、良好な河川空間の創出に努めていく。</p>	

○目標値の達成状況			
指標 (略称)			
番号	目標値/実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値 634人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水門川かわまわまちづくり地区を往来する人数を、609人 (H29当初) から634人 (H32末) へ拡大する。</li> </ul>	
	最終実績値 562人	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、調査期間において「夏に向けたリバウンド措置対策」の決定を踏まえた感染防止対策の徹底」が呼びかけられていたこともあり、外出の自粛傾向が続いていたことによる。	